



fフェイスブックでは、さらに阿南市や地域の出来事をチェックできます！



東京事務所のネットワーク機能を継承



平成24年から、首都圏での情報収集や関係人口増加を図ってきた東京事務所を、9月末で閉鎖しました。9月23、24日、お世話になっている東京・阿南ふるさと会など関係者に表原市長が感謝の意を伝えました。今後は、東京事務所が築いてきたネットワーク機能などを継承した地方創生への取組を推進します。



子どもたちに 地元の魚を味わって



食育や地産地消の推進に活かしてほしいと、椿泊漁業協同組合から小中学校・幼稚園にハマチの切り身6,300切れ、乾燥わかめ10kgをいただきました。9月25日、市役所で行われた贈呈式で、代表理事組合長の久米順二さんは、「子どもたちに、地元の魚や漁業に関心を持ってもらいたい」とあいさつされました。



新型コロナウイルス感染症対策に役立てて



9月11日、株式会社MOONRISE（ムーンライズ）から、新型コロナウイルス感染症の予防対策のためにマスク10,000枚を寄贈いただきました。同社代表取締役の岡本恒二さんは、「まだまだ予断の許さない状況が続いています。マスクを感染症対策に役立ててください」と話していました。



横見小学校 避難をシミュレーション



9月27日、横見小学校にて親子防災学習が実施され、児童・保護者約200人が参加しました。徳島大学の協力の下、大地震後の津波の恐れがある状況と、けが人を補助しながらの避難を想定し、ガラス・がれきに見立てた障害物を乗り越えました。「靴を履いて逃げないと危険」など準備の大切さを学びました。



命を守る行動を呼び掛け



9月14～30日、那賀川河川事務所がフジグラン阿南にて「那賀川防災パネル展」を開催しました。防災情報の活用方法や浸水想定区域図、本市での被災時の写真などを展示し、市民に対して周囲の環境への関心と防災意識をより高め、有事の際、命を守るために取るべき行動を呼び掛けました。



「四国の右下」の魅力を発信したい



県南エリアをPRしてもらおうインタビュー「四国の右下掘り下げ隊」を募集し、記事の書き方や動画の編集方法を学ぶセミナーが9月20日、あなんスマート・ワークオフィスで開催されました。（「四国の右下」若者創生協議会主催）参加した高校生など9人は、伝わる文章の作り方などを教わりました。